

# 石島会計メモ



平成23年7月20日

文責 石島洋一

## ヤマト新社長から学んだこと

### 10円玉の重い思い

先日、宅急便のヤマトホールディングスの新社長木川眞さんとお話する機会がありました。木川さんは、前社長瀬戸薫さん(現会長=私の友人)から、今年4月に社長に就任したばかりです。今まで何度かお話しをする機会があったのですが、じっくりお話しが出来たのは初めてでした。ヤマトは、宅急便1個について10円を東日本大震災の復興のために寄付することにしたのですが、この決断したのは木川さんです。彼は社長就任会見で、そのことを発表することにしました。

### ヤマトのDNA

緊迫した場面のなかで発表した宅急便1個につき10円の寄付、それを発表した瞬間でした。一斉に拍手がわいたのです。社長の就任会見でこのような拍手が起きるのは異例のことだったようです。

実はこの前日、木川さんは会長に相談しました。この寄付を発表したいと思うが良いかどうかです。会長は、一瞬沈黙したそうですが、次の瞬間に同意したそうです。

「ヤマトはお客様に育てられている、そのお客様に恩返しをしよう」、二人の気持ちはすぐに一致したそうです。顧客志向の徹底したヤマトのトップ二人の気持ちに迷いは無かったのでしょう。「ヤマトのDNAですね」と二人とも口をそろえて言っていました。

### トップの意思決定の重要性

一個につき10円という少額に聞こえるかもしれませんが、宅急便の取扱件数は年間13億個、寄付金額は130億円、ヤマトの平均的な経常利益は600億円程度ですから、会社経営にとっては、非常に大きな影響力です。

しかし、この決断があって、東北地方のヤマト社員の意気が相当あがったそうです。自分たちが中心となって、東北地方の復興を目指して行く、多くの社員が自社のこの方針に誇りを持ち、現場のムードは非常に良いものが有ったようです。

また、いつもはライバル会社の顧客も、今年はヤマトの顧客になる、という企業も少なからず出たようです。もちろん、このような効果を狙ってのことではないのですが、トップの社会貢献に対する純粋な英断がもたらした効果であることは確かです。

トップがどのような思いで仕事をして行くか、その思想を伝えることの重要性をあらためて感じたところです。

# 石島会計のウラ面

【今回は職員紹介です **加藤美智子の巻** 受付電話の中心的人物です】

「石島会計事務所の加藤」です。

いつもはお電話口で、失礼しています。

自己紹介いたします！！



氏名・・・ 加藤美智子

生年月日・・・昭和32年1月22日

石島会計の平均年齢をあげてます！

出身地・・・神奈川県川崎市

その後、父の転勤で小4～高校3年まで愛知県で過ごしました。

高校2年の春に父がまた転勤になり、ひとり高校の寮に残り生活していました。

家族・・・ 主人、浪人生の息子、高校1年生の娘の4人家族

趣味・・・ 旅行、読書

実は、**昨年「東京マラソン」の10kmの部に参加し、完走しました。**

石島先生はじめ、何人かが「東京マラソン」で盛り上がっていたのでどうせ当たらないだろうと申込みしたら、当選してしまいました。

今年は、石島先生と慎二郎先生の応援に行き、来年は、私もフルに出るため練習するぞと心に決め、趣味に‘マラソン’が追加されるはずでしたが、今年になって一度も走っていません...

好きな言葉・・・ **一期一会**

人との出会いを大切にしたいと思っています。

好きな食べ物・・・ **お寿司**

**たまには、廻らないお寿司が食べてみたい...**

長所・・・ 明るい。嫌なことはすぐ忘れる。

女は愛嬌！！明るいのが取り柄です。

短所・・・ 短気。片付けがへた

子供に対しては、毎日切れています！！

**断捨離とは無縁です。**捨てることができずにいます。

家族全員がそうなので部屋の中は大変なことに...

好きなもの (弱いもの)・・・ **ポイント3倍・限定品**

買い物は、ポイント3倍デーにあわせて買ったり、

今なら‘おまけ’付だとなんか買ってしまう。

以上です。

これからも、「石島会計事務所の加藤」をよろしく願います。

(文中、赤字部分は所長の判断による強調部分です)